

国際連携・動向調査

グローバルなナレッジベースへの流通促進に向けて

学術情報基盤オープンフォーラム

コンテンツトラック：ERDB-JPパートナーミーティング

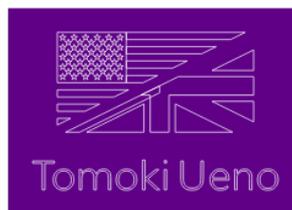
学術総合センター 中会議場2

DAY 2 平成28年5月26日（木）10時～12時

電気通信大学学術情報課 上野 友稔



LIBRARY OF EXOTIC



大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
これからの学術情報システム構築検討委員会
電子リソースデータ共有作業部会

ERDB-JP
Electronic Resources Database-JAPAN

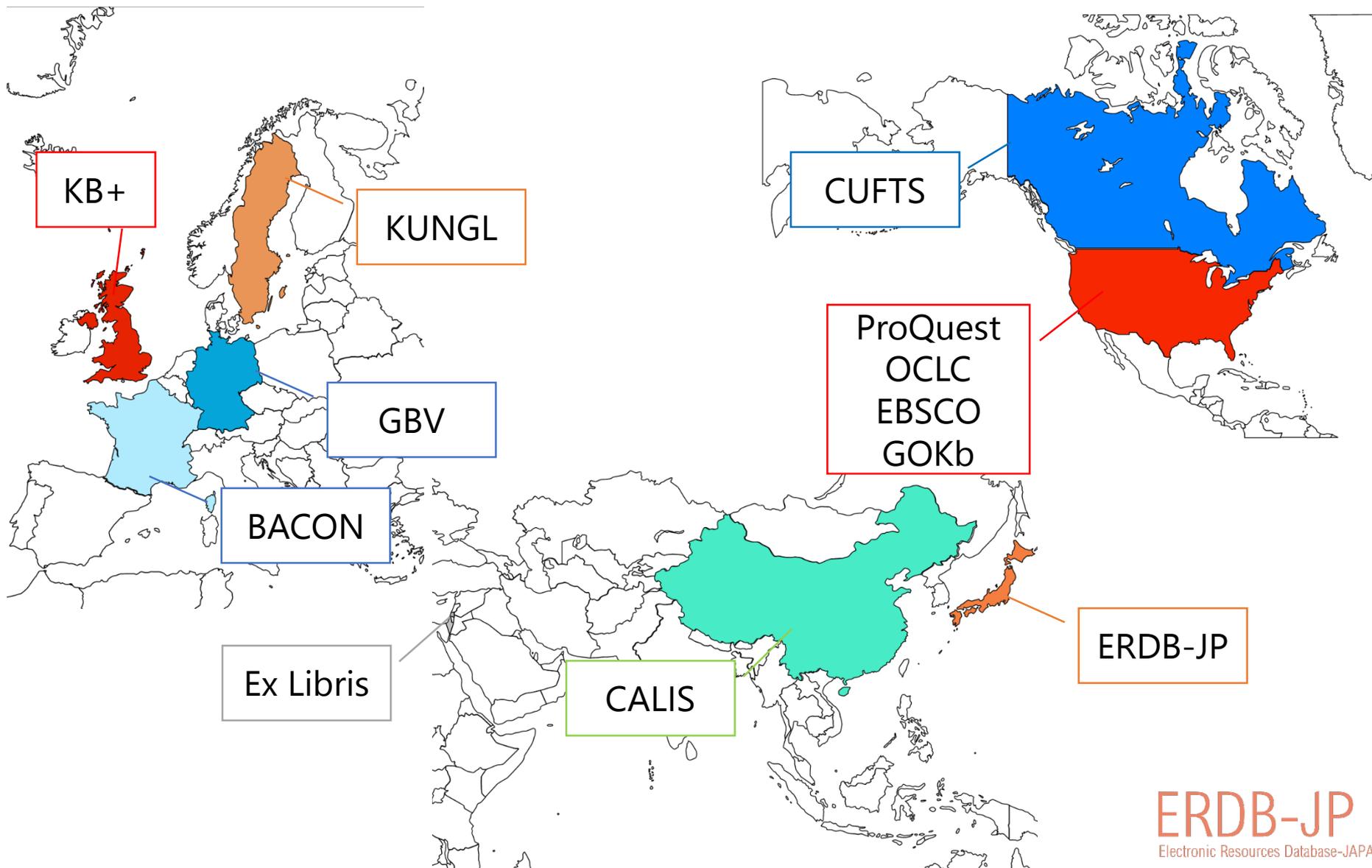
1. KB関係最新トピック・ニュース
2. Charleston Conferenceの参加報告
3. ERDB-JPの国際連携
4. 2016年度以降のロードマップ、タスク
5. 未来予想図

1. KB関係最新トピック・ニュース

年月	トピック・ニュース
平成26年9月	電通大・上野が国大図協海外派遣事業により英国KB+を視察
平成27年4月	ERDB-JP正式公開
平成27年11月	Charleston Conferenceでセッション「Deep Dive into KBART」開催
平成27年11月	オーストリアの図書館ネットワークOBVがEx LibrisのAlmaを導入へ
平成27年12月	ProQuest社がEx Libris社を買収
平成27年12月	CA-1860 オープンなナレッジベースとその背景
平成28年4月	GOKb Update
平成28年6月 (?)	国立大学図書館協会ビジョン (案)
平成32年	NACSIS-CAT/ILL再構築

1. KB関係最新トピック・ニュース：KBマップ

4



2. Charleston Conferenceの参加報告

会議名：Charleston Conference-Issues in book and serial acquisition

概要：出版社、ベンダー、図書館員が一同に会して学術情報流通に関して具体的なサービス・取り組みについてディスカッションする会議

場所：Charleston, South Carolina, U.S.

参加者：上野友稔（電気通信大学） / 香川朋子（お茶の水女子大学）

目的：

- Deep Dive into KBART Workshopに参加し、ERDB-JPにフィードバックする。
- GOKb・ProQuest・ExLibrisなどグローバルなステークホルダーにERDB-JPを広報するとともに、国際連携の可能性を議論する。
- 最新のサービス・それらに対する評価に接し、日本の学術情報流通に参考となる情報を収集する。

2. Charleston Conferenceの参加報告

6

ミーティング1: GOKb

2015/11/5 (木) 13:00~15:00

Kristen Wilson

GOKb Project Manager,
North Carolina State University

Jennifer Solomon

GOKb Editor,
North Carolina State University



ミーティング1: GOKb

Global Open Knowledgebase: GOKbとは

- Community managed
 - コミュニティによるナレッジベース (KB) の管理・構築を目指すプロジェクト。
 - パートナー機関数：25機関
- Partnerships
 - ノースカロライナ州立大学をリーダー機関とし、図書館・出版社・KBベンダー・代理店がパートナーシップによって連携。
 - 正確で最新の情報を反映したKBの提供、各図書館が重複して行っているKBメンテナンスの効率化を図る。
- Open Data
 - Educational Community License
 - Creative Commons Public Domain (CC-0) license

2. Charleston Conferenceの参加報告

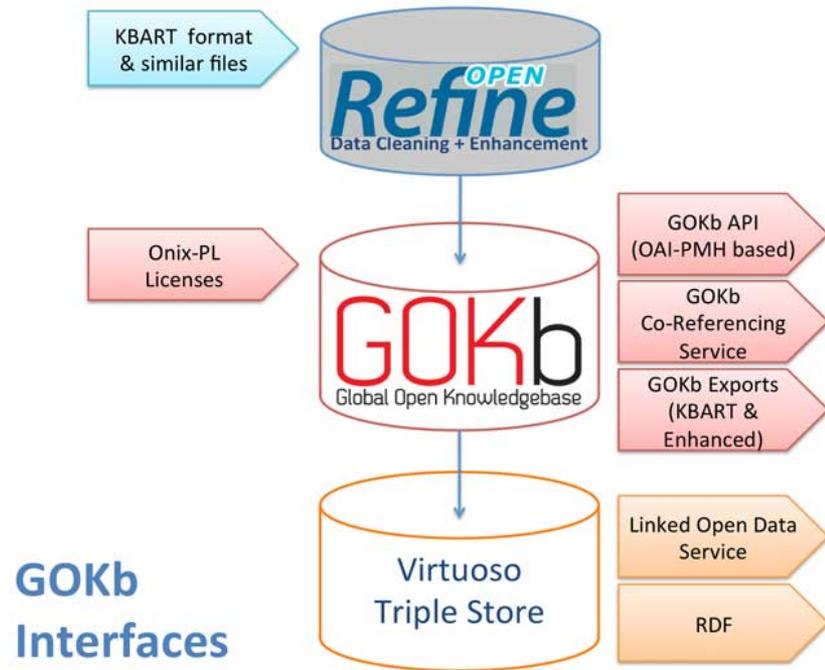
ミーティング1: GOKb

1. ERDB-JPのプレゼンテーション
2. GOKb からERDB-JPへの質問
3. GOKbへの質問

Workflow / System / Data /
TIPP / License data / GOKb
Linked Data Ontology /
ebooks

4. 連携打ち合わせ

- ERDB-JPテストデータ提供



GOKb Interfaces

The Global Open Knowledgebase (GOKb): open linked data supporting electronic resources management and scholarly communication
<http://insights.uksg.org/article/10.1629/uksg.217/>

ミーティング2: ExLibris

2015/11/5 (木) 15:00~15:30

Christine Stohn (Senior Product Manager, Discovery & Delivery)

1. ERDB-JPのプレゼンテーション

- KBの質や収録範囲はサービス（ディスカバリ/リゾルバ等）の品質に直結する
- 自社のKBを補完するユニークなコレクション（ERDB-JP）に高い関心を示していた

2. Metadata standard

- KBART / Full MARC format (for eBooks) に対応
- KBはKBART形式による自動更新が可能
 - ISSNをレコードのキーとしているため、自動での差分更新が課題

ミーティング3: ProQuest

2015/11/5 (木) 17:00~18:00

Michelle D'Couto (Lead Product Manager)

1. ERDB-JPのプレゼンテーション
2. Metadata solution
 - KBART / MARCに対応中だが、MARCからBIBFRAMEへの移行を要望する図書館も*
 - Linked Data Ontology(は様々なontology(例: schema.org) / vocabulariesを検討中*
3. ERM workflow solution / consortium support
 - 360Resource Manager (360RM) / Intota

*Yvette Diven (Product Manager Lead in Data Services, ProQuest)からの情報提供

- KBを含むメタデータ作成を国際協調の元に進める必要がある（JPはその重要な一つのピースである）
- JPのデータが国際的に流通することにより、日本のコンテンツの認知度、利用度の向上につながる

4. 2016年度以降のロードマップ、タスク

12

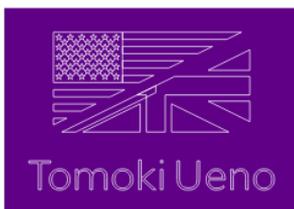
- GOKbへのテストデータの提供
 - 提供中、GOKbによる検証待ち
- GOKbとのパートナーシップの検討
- GOKbとの情報交換
 - OAジャーナルの取り扱い、新ウェブサイトの準備
- トライアルによる商用システムの検証：電子リソースの管理とサービスへの利活用のため：360 Resource Manager Consortium Edition (ProQuest)、Alma (ExLibris)

- 学術情報の電子化が「さらに」進んだ未来において、大学図書館職員の仕事はどうなっている？
- 検索システムの提供、検索のためのデータの作成は、Googleにおまかせですか？
- 図書館員の仕事 = 利用者と資料を結びつける

学術情報流通の未来のために活発な議論を…



LIBRARY OF EXOTIC



電気通信大学学術情報課 上野 友稔

E-mail: ueno.tomoki@uec.ac.jp

ERDB-JP
Electronic Resources Database-JAPAN